

2008 年 1 月 1 日～2020 年 3 月 31 日の間に 当科において偶発性低体温症の治療を受けられた方及びご家族の方 へ

—「偶発性低体温症の長期予後と予後因子の検討」へのご協力をお願い—

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者 川崎医科大学救急医学 臨床助教 上野 太輔
研究分担者 川崎医科大学救急医学 特任教授 椎野 泰和
川崎医科大学救急医学 准教授 宮本 聡美
川崎医科大学救急医学 准教授 井上 貴博
川崎医科大学附属病院 救急科 医長 木下 公久
川崎医科大学救急医学 講師 高橋 治郎
川崎医科大学救急医学 講師 山田 祥子
川崎医科大学救急医学 臨床助教 稲吉 祐樹
川崎医科大学救急医学 臨床助教 岡根 堯弘

1. 研究の概要

低体温症とは深部体温（直腸温，膀胱温，食道温，肺動脈温など）が 35 以下に低下した状態を示します。低体温症の原因には， 寒冷環境， 熱喪失状態， 熱産生低下， 体温調節能低下などがあり，これらが単独あるいは複合して発症するとされています。

偶発性低体温症の長期予後や予後因子に関しては明らかになっていません。

当院で偶発性低体温症と診断された患者の長期予後を調査し、予後及び予後因子に関して検討します。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2008 年 1 月 1 日～2020 年 3 月 31 日の間に川崎医科大学附属病院救急科において偶発性低体温症の治療を受けられた方を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認日～2022 年 3 月 31 日

3) 研究方法

2008 年 1 月 1 日～2020 年 3 月 31 日の間に当院において偶発性低体温症の治療を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに性別や既往症、発見現場の状況、血液検査所見、予後などのデータを選び、偶発性低体温症の長期予後および予後因子に関する分析を行い、今後の治療を行われる偶発性低体温症患者の予後改善の因子を検討します。

4) 使用する情報の種類

情報：年齢、性別、家族歴、病歴、既往歴、治療歴、入院中合併症、血液検査、予後 等

5) 情報の保存

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から 5 年間、川崎医科大学救急医学教室内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2021 年 12 月 31 日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学 救急医学

氏名：上野 太輔

電話：086-462-1111 内線 44332（平日：8 時 0 分～17 時 00 分）

E-mail：daisuke0111@hotmail.co.jp

3. 資金と利益相反

本研究は学内研究費を用いて行われます。

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。